

## 『算数科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和5年5月〇日 第2校時(45分)

(2) 場 所 第4学年1組教室

(3) 学年・学級 第4学年1組(28名)

使用教科書 たのしい算数4年(大日本図書)P30~45

(4) 単 元 名 わり算のしかたを考えよう

(5) 指導する児童の状況

## 【既習事項】

- ・除法の意味と乗法九九を1回適用してできる除法計算(余りなし, 余りあり)の仕方。
- ・各位でわりきれの簡単な2位数÷1位数の除法計算。
- ・乗法の計算や何十÷1位数の計算で, 十を基にする単位の考え方を学んでいる。

## 【単元の目標】

- (1) 2, 3位数÷1位数の計算の仕方や筆算の仕方について理解し, 計算することができる。また, 「除数×商+余り=被除数」の関係を用いて除数の計算の確かめをすることができる。(知識及び技能)
- (2) 2, 3位数÷1位数の計算の仕方を数の見方や構成に着目して考え, 説明することができる。(思考力, 判断力, 表現力等)
- (3) 2, 3位数÷1位数の計算の仕方を, 既習の計算方法を基に考えた過程を振り返り, 数学のよさに気付いたり, 今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。(学びに向かう力, 人間性等)

## 【評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法の計算が, 基本的な計算を基にしてできることを理解している。 ② 除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法の筆算の仕方について理解している。 ③ 除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法の計算が確実にできる。 ④ 用語「商」を知り, 整数の除法において, 被除数, 除数, 商及び余りの間の関係について理解している。	① 除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法の計算の仕方を考えている。 ② 除法に関して成り立つ性質を見だし, その性質を活用して計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりしている。	① 除法に関して成り立つ性質を活用して, 工夫して計算しようとしている。 ② 2位数の除法の学習を基に, 3位数の除法もできないかと発展的に新しい問題を見だししている。

## 【児童の状況】

- ・乗法九九の計算については, ほぼ全員の児童が確実にできる。
- ・第3学年の2位数÷1位数の計算では, 具体物を使って答えを導くことはできたが, 位ごとに分けるなど数の構成に着目し, 式を用いて説明できない児童が約1割いた。
- ・言葉, 数, 式, 図を用いて, 自分の考えを説明し合う活動を日々取り入れている。既習の内容をもとに, 根拠を明らかにしながら説明することができる児童は, 現在, 7割程度である。

裏面に続く

校種・教科等	小学校 算数	受審番号		氏名	
--------	--------	------	--	----	--

## (6) 指導計画(全 11 時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画		
第一次 (5時間) 本時 1/5	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の除法の計算の仕方を振り返り, 十の位がわりきれない2位数÷1位数の計算に対する興味・関心を高め, 本単元の見通しをもつ。</li> <li>十の位がわりきれない2位数÷1位数の計算原理や方法を理解する。 教科書:P30~35</li> </ul>	一斉 個別 ペア グループ	・知①	・思①	・態①
	<ul style="list-style-type: none"> <li>十の位がわりきれない2位数÷1位数の筆算の仕方を理解し, 計算する。</li> </ul>		・知②		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「和」, 「差」, 「積」, 「商」の用語とそれらの意味や「除数×商+あまり=被除数」の関係を理解し, 答えの確かめをする。</li> <li>* 「和」, 「差」, 「積」, 「商」の漢字の意味を知り, 用語の理解を深める。</li> </ul>		・知④	・思②	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>2位数÷1位数で, 商の一の位が0になったり, 商が1位数になったりする除法の筆算の仕方を理解し, 計算する。</li> </ul>			・思①	・態②
第二次 (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>3位数÷1位数で, 各位がわりきれぬ除法の計算原理や方法を理解し, 計算する。</li> </ul>	一斉 個別 ペア グループ	・知①	○思①	○態①
	<ul style="list-style-type: none"> <li>3位数÷1位数で, 商が3位数になる除法の筆算の仕方を理解し, 計算する。</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>3位数÷1位数で, 商の一の位や十の位が空位になる除法の筆算の仕方を理解し, 計算する。</li> </ul>		・知②		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>3位数÷1位数で, 商が2位数になる除法の計算原理や方法, 筆算の仕方を理解し, 計算する。</li> </ul>			・思②	
第三次 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な学習内容を理解しているか確認し, それに習熟する。</li> </ul>	個人 ペア	・知③	○思②	○態②
	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容の定着を確認する。(評価テスト)</li> </ul>		○知① ② ③ ④	○思②	

●面接終了後, メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

## 『算数科』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和5年5月〇日 第2校時(45分)

(2) 場 所 第4学年1組教室

(3) 学年・学級 第4学年1組(28名)

使用教科書 たのしい算数4年(大日本図書)P30~45

(4) 単 元 名 大きな数のわり算

(5) 指導する児童の状況

## 【既習事項】

- ・除法の意味と乗法九九を1回適用してできる除法計算(余りなし, 余りあり)の仕方。
- ・各位でわりきれの簡単な2位数÷1位数の除法計算。
- ・乗法の計算や何十÷1位数の計算で, 十を基にする単位の考え方を学んでいる。

## 【単元の目標】

- (1) 2, 3位数÷1位数の計算の仕方や筆算の仕方について理解し, 計算することができる。また, 「除数×商+余り=被除数」の関係を用いて除数の計算の確かめをすることができる。(知識及び技能)
- (2) 2, 3位数÷1位数の計算の仕方を数の見方や構成に着目して考え, 説明することができる。(思考力, 判断力, 表現力等)
- (3) 2, 3位数÷1位数の計算の仕方を, 既習の計算方法を基に考えた過程を振り返り, 数学のよさに気付いたり, 今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。(学びに向かう力, 人間性等)

## 【評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法の計算が, 基本的な計算を基にしてできることを理解している。 ② 除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法の筆算の仕方について理解している。 ③ 除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法の計算が確実にできる。 ④ 用語「商」を知り, 整数の除法において, 被除数, 除数, 商及び余りの間の関係について理解している。	① 除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法の計算の仕方を考えている。 ② 除法に関して成り立つ性質を見だし, その性質を活用して計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりしている。	① 除法に関して成り立つ性質を活用して, 工夫して計算しようとしている。 ② 2位数の除法の学習を基に, 3位数の除法もできないかと発展的に新しい問題を見いだしている。

## 【児童の状況】

- ・乗法九九の計算については, ほぼ全員の児童が確実にできる。
- ・第3学年の2位数÷1位数の計算では, 具体物を使って答えを導くことはできたが, 位ごとに分けるなど数の構成に着目し, 式を用いて説明できない児童が約1割いた。
- ・言葉, 数, 式, 図を用いて, 自分の考えを説明し合う活動を日々取り入れている。既習の内容をもとに, 根拠を明らかにしながら説明することができる児童は, 現在, 7割程度である。

裏面に続く

校種・教科等	小学校 算数	受審番号		氏名	
--------	--------	------	--	----	--

## (6) 指導計画(全 11 時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画		
第一次 (5時間)	・既習の除法の計算の仕方を振り返り, 十の位がわりきれない2位数÷1位数の計算に対する興味・関心を高め, 本単元の見通しをもつ。 ・十の位がわりきれない2位数÷1位数の計算原理や方法を理解する。	一斉 個別 ペア グループ	・知①	・思①	・態①
	・十の位がわりきれない2位数÷1位数の筆算の仕方を理解し, 計算する。		・知②		
	・「和」, 「差」, 「積」, 「商」の用語とそれらの意味や「除数×商+あまり=被除数」の関係を理解し, 答えの確かめをする。 * 「和」, 「差」, 「積」, 「商」の漢字の意味を知り, 用語の理解を深める。		・知④	・思②	
	・2位数÷1位数で, 商の一の位が0になったり, 商が1位数になったりする除法の筆算の仕方を理解し, 計算する。			・思①	・態②
第二次 (4時間) 本時 1/4	・3位数÷1位数で, 各位がわりきれぬ除法の計算原理や方法を理解し, 計算する。教科書:P40	一斉 個別 ペア グループ	・知①	○思①	○態①
	・3位数÷1位数で, 商が3位数になる除法の筆算の仕方を理解し, 計算する。				
	・3位数÷1位数で, 商の一の位や十の位が空位になる除法の筆算の仕方を理解し, 計算する。		・知②		
第三次 (2時間)	・基本的な学習内容を理解しているか確認し, それに習熟する。	個人 ペア	・知③	○思②	○態②
	・学習内容の定着を確認する。 (評価テスト)		○知① ② ③ ④	○思②	

●面接終了後, メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

## 『算数科』 模擬授業課題

- (1) 日 時 令和5年10月〇日 第2校時(45分)  
 (2) 場 所 第3学年1組教室  
 (3) 学年・学級 第3学年1組(28名) 使用教科書 たのしい算数3年(大日本図書)P136～137

## (4) 単 元 名 大きな数のわり算のしかたを考えよう

## (5) 指導する児童の状況

## 【既習事項】

- ・除法の意味や乗法九九を1回適用してできる除法計算の意味と計算方法。
- ・2位数×1位数の乗法計算と筆算の仕方。
- ・乗法の計算で十や百を単位として考え、乗法九九に帰着できることを学んでいる。

## 【単元の目標】

- (1) 簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数になる計算の仕方を理解し、計算することができる。  
(知識及び技能)
- (2) 簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方について、10を単位とした数の見方や数の構成的な見方に着目し、除法の計算の仕方を既習の計算の仕方や図などを用いて考え、説明することができる。  
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 除数が1位数で商が2位数になる除法の計算の仕方について、考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気付いたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。  
(学びに向かう力、人間性等)

## 【評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算の仕方を知っている。	① 簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算の仕方を考えている。	① 自分が考えた除法の計算の仕方について、具体物や図と式とを関連付けて考えようとしている。

## 【児童の状況】

- ・乗法九九の計算については、ほぼ全員の児童が確実にできる。
- ・余りのある除法については、形式的に計算することはできるが、余りを場面に応じてどう処理してよいのか分からない児童が約1割いる。
- ・除数と余りの関係が、まだ十分に理解できていない児童が約1割いる。
- ・言葉、数、式、図を用いて、自分の考えを説明し合う活動を日々取り入れている。既習の内容を基に、根拠を明らかにしながら説明することができる児童は、現在、7割程度である。

## (6) 指導計画(全3時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画	
第一次 (3時間) 本時1/3	・何十÷1位数で、十の位がわりきれの場合の計算原理や方法を理解し、計算する。 教科書:P136	一斉 個別 ペア グループ	・知①	・思①
	・2位数÷1位数で、位ごとにわりきれの場合の計算原理や方法を理解し、計算する。		○思①	○態①
	・学習内容の定着を確認する。 (評価テスト)		○知①	○思①

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。

校種・教科等	小学校 算数	受審番号		氏名	
--------	--------	------	--	----	--

『算数科』 模擬授業課題

- (1) 日 時 令和5年10月〇日 第2校時(45分)  
 (2) 場 所 第3学年1組教室  
 (3) 学年・学級 第3学年1組(28名) 使用教科書 たのしい算数3年(大日本図書)P136～137

(4) 単 元 名 大きな数のわり算のしかたを考えよう

(5) 指導する児童の状況

【既習事項】

- ・除法の意味や乗法九九を1回適用してできる除法計算の意味と計算方法。
- ・2位数×1位数の乗法計算と筆算の仕方。
- ・乗法の計算で十や百を単位として考え、乗法九九に帰着できることを学んでいる。

【単元の目標】

- (1) 簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数になる計算の仕方を理解し、計算することができる。  
(知識及び技能)
- (2) 簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方について、10を単位とした数の見方や数の構成的な見方に着目し、除法の計算の仕方を既習の計算の仕方や図などを用いて考え、説明することができる。  
(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 除数が1位数で商が2位数になる除法の計算の仕方について、考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気付いたり、今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。  
(学びに向かう力、人間性等)

【評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算の仕方を知っている。	① 簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算の仕方を考えている。	① 自分が考えた除法の計算の仕方について、具体物や図と式とを関連付けて考えようとしている。

【児童の状況】

- ・乗法九九の計算については、ほぼ全員の児童が確実にできる。
- ・余りのある除法については、形式的に計算することはできるが、余りを場面に応じてどう処理してよいのか分からない児童が約1割いる。
- ・除数と余りの関係が、まだ十分に理解できていない児童が約1割いる。
- ・言葉、数、式、図を用いて、自分の考えを説明し合う活動を日々取り入れている。既習の内容を基に、根拠を明らかにしながら説明することができる児童は、現在、7割程度である。

(6) 指導計画(全3時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画	
第一次 (3時間) 本時2/3	・何十÷1位数で、十の位がわりきれの場合の計算原理や方法を理解し、計算する。	一斉 個別 ペア グループ	・知①	・思①
	・2位数÷1位数で、位ごとにわりきれの場合の計算原理や方法を理解し、計算する。 教科書：P137		○思①	○態①
	・学習内容の定着を確認する。 (評価テスト)		○知①	○思①

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。